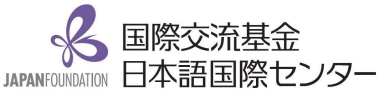


文法の教え方

Unit 1 準備 Part 1 文法とは？



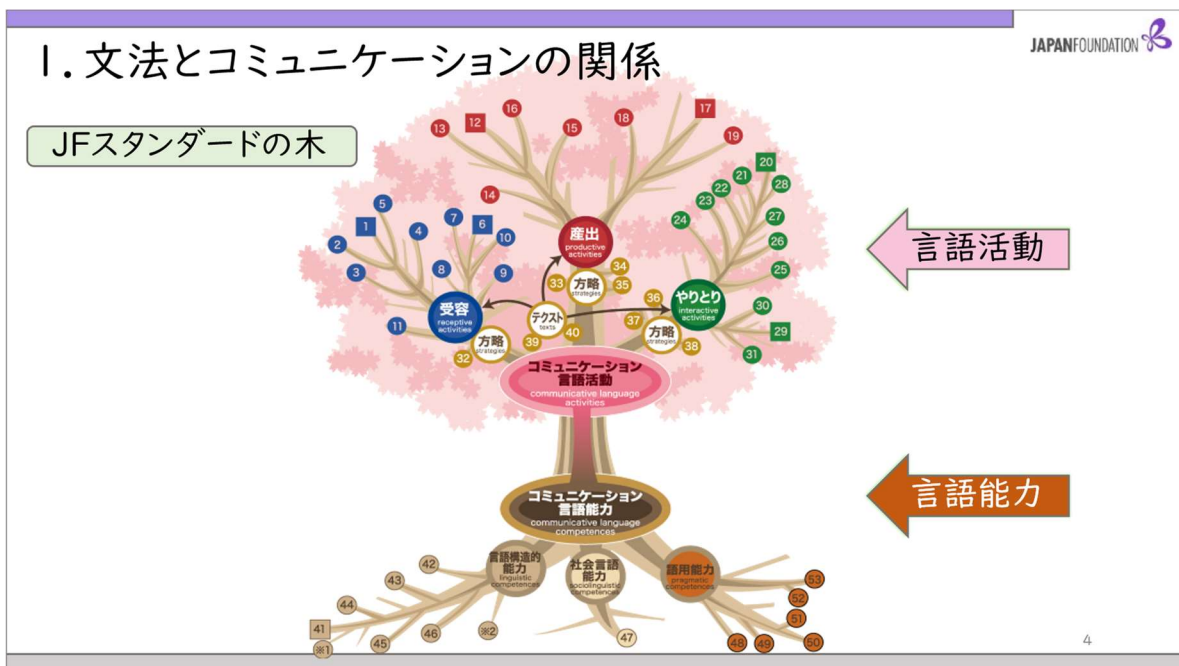
【本コースについて】コミュニケーションにつながる文法指導^{しどう めざ}を目指して、文法をどのように考えたいのか、そして文法指導^{おこな}をどのように行ったらいいのかについて考えていきます。

はじめに

このパートでは、コミュニケーションにつながる文法とはどういうものかについて、1) 文法とコミュニケーションの^{かんけい}関係、2) 「文法の3つの^{ようそ}要素」について考えていきます。

キーワード: 言語活動、言語能力、文法の3つの要素、言語形式、意味／機能、使い方

1. 文法とコミュニケーションの関係



文法とコミュニケーションの関係を考えるにあたり、「JFスタンダードの木」を紹介します。

この木はコミュニケーション活動の категория とそれに必要な能力を表しています。

木の枝の部分は、読む、聞く、話す、書く、会話をするといった技能を使う、たくさんのコミュニケーション言語活動を表しています。つまり実際に目に見える、私たちの言語活動です。

一方、木の根の部分は、文法、語彙・文字などの言語構造的な能力や、社会言語能力、語用能力を示しています。つまり、土の中で見えないけれども、木の枝をしっかりと支えている部分で、言語能力と言います。

【タスク1】

次の文は「初めて会った人に話しかけ、会話を続けることができる」という言語活動を行うときに、必要な言語能力を説明したものです。下の a-c の中から () に適切な言葉を選んでください。

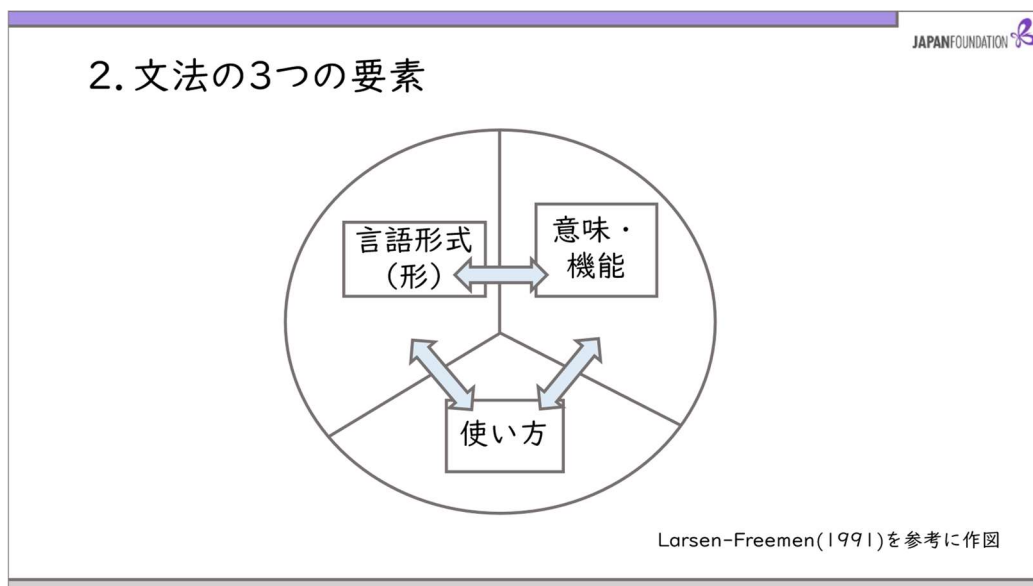
相手に自分が言いたいことを理解してもらうために、① () つまり文法や語彙、発音の正確さが必要になります。さらに、会話を続けるためには② () が必要です。また、「初めて会った人に話しかける」時には、いつもより少しフォーマルな表現を使う時が多いですが、これは相手に合わせて表現を使い分ける③ () が必要だと言えます。

- a. 社会言語能力 b. 言語構造的な能力 c. 語用能力

言語能力の中にある文法に関わる能力は、コミュニケーションを支えるための大切な能力の一つです。コミュニケーションができるようになるためにも、私たちは文法を学ぶ^{まな}必要があるといえます。

2. 文法の3つの要素

コミュニケーションを支えている「文法」とは、いったいどのようなものでしょうか。文法には「言語形式(形)」「^{い み き の う}意味・機能」「^{み っ せ つ}使い方」の3つの要素があります。これらは「文法の3つの要素」と呼ばれており密接^{み っ せ つ}につながっていて、おたがいに^{けい せ い}関係し合いながら文法を形成^{けい せ い}しています。

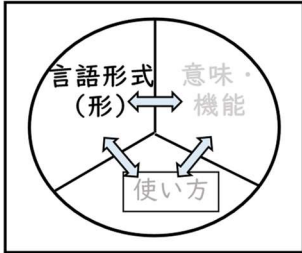


一つ目の要素は、「言語形式」です。下の1)と2)を見てください。1)は動詞の辞書形を形にするときのルールです。2)は受身文を作るためのルールです。文法の要素の一つ目としては、このような「文法の形」があげられます。活用や文型といった言語形式を間違えると、相手に正しく言いたいことが伝えられません。

【要素①】言語形式(形)

1)
 のむ → のんで
 たべる → たべて
 する → して

動詞のて形



2)
先生は私をしかったです。
~~私~~は~~先生~~にしかったです。

受身文

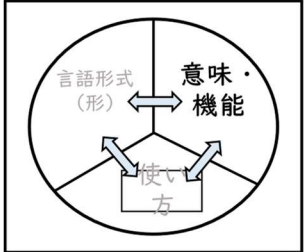
二つ目の要素は、「意味／機能」です。1)と2)の「ている」の意味機能は同じでしょうか。

【要素②】意味／機能

「～ている」の意味／機能は同じ?

1) (電話)
 妻：今、子どもたち何して(い)る?
 夫：今? 静かにテレビ見て(い)るよ。

2) (道で)
 A：あっ、あそこ!
 B：どうしたの?
 A：財布が落ちて(い)る。



1)の「～ている」は、「^{けいぞく}継続」を表す「～ている」ですが、2)の「～ている」は、「^{けっか}結果」を表す「～ている」です。このように同じ言語形式でも、意味／機能は異なる場合があります。

三つ目の要素は「使い方」です。「だれが」「だれに^{たい}対して」、そして「どんな^{ばめん}場面で」言うかによって、えらばれる文法はちがいます。

【タスク2】

次の1) 2)の会話は「どんな関係」の人達が、「どんな言葉」を使っていますか。

下のa)～d)から選んで、^{ひょう}表に書いてみましょう。

- 1) A: 何食べたい?
B: 何にしようかな。じゃ、カレー。
- 2) A: 何になさいますか。
B: 何にしようかな。じゃ、私はカレーにするよ。

	どんな関係?	どんな言葉 (^{ふつうたい} 普通体・ ^{ていねいたい} 丁寧体)
1)		
2)		

- a. ^{ていねい}丁寧さが必要な関係 b. ^{なか}仲の良い関係 c. 丁寧体 d. 普通体

【タスク3】

次の3) 4) の会話では「どんな場面」で、どんな言葉が使われていますか。

下のa~dから選んで、表に書いてみましょう。

3) A: 昨日、友達とディズニーランド行ったんだ。

B: どうだった?

A: めっちゃ楽しかった。また行きたいな。

4) 私は昨日、友達とディズニーランドに行きました。とても楽しく、また行きたいと思いました。

	どんな場面?	どんな言葉 (普通体・丁寧体)
3)		
4)		

- a. 仲の^{なか}良い友達と会話している場面 b. 日本語クラスでの^{はっぴょう}発表の場面
c. 丁寧体 d. 普通体

【タスク4】

皆さんは、文法の3要素の中で、^{ふだん}普段どの要素をよく教えていますか。また、あまり教えていない要素はなんですか。

よく教えている要素()

あまり教えていない要素()

3. まとめ

コミュニケーションにつながる文法とはどういうものなのかについて考えてきました。

まず文法は言語能力の一つであり、コミュニケーションを支えていることがわかりました。

またコミュニケーションを支えている「文法」には「文法の3つの要素」があることが確認できました。文法の3つの要素とは、1) 言語形式、2) 意味／機能、3) 使い方です。これら3つの要素を持つ文法が、コミュニケーションを支えています。

文法をただの知識としてだけでなく、コミュニケーションにつながるものとして考えることが大切です。

■ このパートの^{さんこうぶんけん}参考文献と参考サイト

- ・ 国際交流基金(2010)『文法を教える』(国際交流基金 日本語教授法シリーズ 4) ひつじ書房
- ・ Larsen-Freeman,D.(1991)Teaching Grammar.in Celce-Murcia,M. (ed.)Teaching English as a Second or a Foreign Language. Boston,Mass:Heinle&Heinle,279-296.
- ・ JF スタンドアード <https://www.jfstandard.jp/go.jp>

■ タスクの答え

【タスク 1】①b ②c ③a

【タスク 2】

	どんな関係？	どんな言葉 (普通体・丁寧体) <small>ふつうたい ていねいたい</small>
1)	b	d
2)	a	c

【タスク 3】

	どんな場面？	どんな言葉 (普通体・丁寧体)
3)	a	d
4)	b	c

【タスク 4】 (答えなし)